

1. 基本精神・学校教育目標

私たちは、『地域の期待に応え、地域から信頼される学園』として、新しい時代に、『志と誇りを持って、いきいきと生きる人間』を育成します。

2. 学校像

人間力・特性を伸ばす
 ◇挨拶日本一
 ◇自律・自立・貢献

3. 運営理念

輝く 生涯にわたって生きて働く力をつける
 □人格の陶冶 □高い志と誇り □自立・自己成長・社会貢献

↑
 極める 探究し 特性を發揮する
 □学力の伸長 □豊かな情操と強固な意志 □健やかな身体・運動能力

↑
 徹する 集中し 磨く
 □知・徳・体のバランスのとれた教育 □基礎基本の徹底 □自律・礼節

4. 運営目標・評価項目・達成状況

運営目標	短期運営目標	本年度行動計画	評価指標	前年度	本年度		評価	運営目標の達成状況
				実績値	目標値	実績値		
学力の向上	・学力の向上	・普通科では、最難関、難関、総合進学、スポーツ芸術の4コースが3学年揃い各コースの特性を伸ばし充実を図る。また、各分掌や担任、教科と連携して、国公立大学及び難関私立大学の合格者数を増加させる。 ・工業科では授業の質を高め基礎・基本を定着させ、かつ資格取得のための技能習熟度を向上させる授業や補習に取り組んで即戦力として通用する”人材”を育成し、22年連続就職希望者内定率100%を目指す。	・合格者数(過年度含) ・就職内定率	36名 (40) 100%	37名 100%	42名 100%	4	各コースが3学年揃い最初の年度で、習熟度別、少人数制の授業に加え、難関大学向けの学習充実を図り、学力の向上に努めた。授業を中心とした学力向上指導を充実させ、さらに補習や個別指導を徹底して、国公立大学に16名、難関私立大学に26名が合格した。国公立大学の合格者数は昨年度より減少したが、広島大学に3名の合格者がでた。私立大学合格者数は153名となった。教科指導満足度は生徒93%、保護者95%となっており、進路別受験指導や面接指導に高い評価を得ることができた。さらなる教育効果や成果を目指してアクティブラーニングなど授業の展開方法の工夫・改善などを進めるとともに、関係分掌・学年・担任・教科会との連携を強化する。工業科では、授業の質を高め基礎・基本を定着させ、実社会で生きて働く力の育成に努めた。22年連続で就職希望者内定率100%を達成した。
	・意志を大切に した進路指導の充実	・各コースの特徴を生かし、生徒の進路設計を具体化して、自己の進路目標を達成するコース選択や学力・技能等を伸ばし、人生観・世界観・職業観・勤労観等を培う。	・進路指導に関するアンケート	満足度 保護者97% 生徒95%	満足度 保護者98% 生徒96%	満足度 保護者93% 生徒95%	4	三者懇談を2回以上、2者懇談も5回以上実施し、進路希望調査を定期的に行うことを通じて、早い段階から進路目標を決定して面接・小論文指導などにも取り組み、就職試験や推薦入試、一般入試において一定の成果を上げることができた。また、進路指導満足度は生徒95%、保護者93%を達成した。
	・授業力の向上	・校内外の教科研修を充実させる。言語活動及び課題発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学び(「アクティブラーニング」)を重視した研究授業を実施し、授業力を高める。	・教科指導に関するアンケート	満足度 保護者95% 生徒97%	満足度 保護者96% 生徒98%	満足度 保護者95% 生徒93%	4	「主体的・対話的で深い学び」の実践を目指して、創立60周年記念公開研究会を11月3日に開催し、外部から111名の参加者が来校された。また、県立教育センターや大手予備校が開講している校外研修にも積極的に参加した。研究授業は生徒の資質・能力を育成するアクティブラーニング型の授業への取組みが見られ、授業力向上につながる取組みともなっている。
豊かな心の育成	・かかわりきる生徒指導の推進	・「挨拶日本一」の指導を徹底し、礼節や規律を重んじる姿勢や目標に向かって努力する態度を養う。「生徒一人一人を大切に」「組織的に」「オープンに」を掲げ、挨拶・身だしなみ強化月間を年3回実施し、よりよい校風の樹立に全教職員が一体となって努める。	・生徒指導に関するアンケート	満足度 保護者97% 生徒93%	満足度 保護者98% 生徒94%	満足度 保護者96% 生徒93%	4	全教員が体系的に、一人一人の生徒に対して粘り強く指導を継続し、また、挨拶が定着しつつあり、身だしなみも定期的に指導することで確実に良くなった。今後とも、統一した指導体制のもと、きめ細やかな指導を粘り強く継続していくことが大切である。その上でさらに特定の生徒に対する指導を考えていく必要がある。また、1学年のQIU検査は新入生の学級運営をする上で有効であり、個々の生徒指導にも効果的であった。
	・クラブ活動の促進	・クラブ加入率の増加を図り、文武両道を志向する部活動を通じて、「知」「徳」「体」兼備の人材を育成する。	・クラブ加入率	90%	91%	90%	4	文武両立を志向する生徒が大半であり、クラブ加入率は90%であった。さらに、生徒が各クラスに位置付き、目的を持って学校生活を送れるよう、担任とクラブ顧問とが緊密に連携していく。
	・特色ある教育内容の展開	・体育祭・文化祭・修学旅行・学習合宿等の内容を充実を図り感動ある学校行事にする。また、高校1年生に「7つの習慣」の授業を実施しすべての教育活動に活用するグローバル教育を推進して、国際交流を積極的に行いコミュニケーション能力を培うとともに国際感覚を養う。	・学校行事等に関するアンケート 作文	89%	90%	90%	5	調査では、体育祭90%以上、修学旅行90%以上の生徒が満足であるという結果が得られた。学習合宿においては、学習意欲の向上と効果的な学習方法の定着を促進することができた。また、高校1年生に導入している「7つの習慣」の授業について毎回の振り返りや感想シート、発行している「7J通信」では肯定的なものがほとんどであり、生徒の満足度は100%に近い。
学校体制の充実	・信頼される学校づくり	・「萌芽」学級通信を継続発行して保護者と連携を図る。「フォーサイト」を積極的に活用して個々の目標にしっかりと取り組むことで、クラス目標、学年目標、学校目標を達成する。	・教育全般に関するアンケート	満足度 保護者98% 生徒96%	満足度 保護者99% 生徒97%	満足度 保護者96% 生徒93%	4	創立60周年記念公開研究会に向けて、教員個々が研究主題を実現するために、計6回の全体集合研修と教科別研修を実施した。これらの研修会には、各回とも外部講師を招聘し、専門的な立場から指導助言をいただいた。今後、生徒に育成すべき力と教科教育に求められる具体的な指導法について考える契機となった。また、校内LANの活用や平素からの連絡・調整を行って、職員会議、主任会議、教科主任会などの諸会議を必要最低限に抑え、生徒と接する時間を確保することができたことで教科指導やクラブ指導が充実した。
	・生徒募集の強化	・企画広報・募集部を中心に、全職員が塾や小学校・中学校の児童・生徒及び保護者に積極的に働きかけ、協働して高校260名以上の入学者を確保する。	・入学者数	250名	260名	240名	4	企画広報・募集部を中心に小・中学校訪問を、全職員で塾訪問を行った。また、「7つの習慣」を中心とする公開講座や地区別説明会を開催し、オープンスクールを実施するなど、本校教育の広報、生徒募集活動に努めた。入学生徒は内部進学を含め240名となり、目標の260名を達成出来なかったが、外部からの入学者は昨年度からは6名の増加であった。工業科の入学生が予定数より少ない状況が6年連続している。分析・調査を踏まえて募集戦略の企画検討を行い、職員が一丸となって効果的な小・中学校訪問、塾訪問を徹底した。
	・学校組織の機能化及び人材の育成	・校内外の研修を通して、教員が自己研鑽を実践するとともに、組織の一員として自発的、意欲的な動きや達成感を高めることを通じて人材の育成を図る。	・実施状況	教員研修 40回	教員研修 42回	教員研修 40回	5	教頭・事務室を中心に諸会計の明瞭化を促進し、会計に対する説明責任に係る意識の定着を図っている。また、今年度卒業生の全体満足度は、学年設定目標を90%以上としたが、生徒93%、保護者94%であった。特に、学校行事・クラブ活動における感動的体験に関するコメントが多く寄せられた。